

氷見市議会厚生文教委員会会議録

令和6年2月15日（木）
氷見市庁舎議事堂委員会室
開会 午前 9時59分
休憩 午前 11時54分
再開 午後 0時59分
閉会 午後 1時20分

- 1 案 件 令和6年度予算案のうち厚生文教委員会の所管に係るもの
- 2 出席委員 6名
越田委員長、屋敷副委員長、福嶋委員、荻野委員、正保委員、澤田委員
- 3 委員外議員 積良議長
- 4 職務のため出席した議会局職員 串田局長、川上次長補佐
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、篠田副市長、鎌仲教育長、大木政策統括監、出戸企画政策部長、東軒総務部長、新井市民部長、泉澤教育次長、瀧井教育委員会事務局参事、森福祉介護課長、利光子育て支援課長、大野市民課長、粟屋健康課長、釜田病院事業管理室長、大浅環境防犯課長、萩原学校教育課長、布尾文化振興課長、西島スポーツ振興課長 ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 1人
- 7 付 託 議 案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・越田委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、説明を了承することとした（主な質疑応答は別紙のとおり）。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和6年2月15日

氷見市議会厚生文教委員長

越田喜一郎

令和6年2月厚生文教委員会調査日程表

令和6年2月15日（木）午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 学校教育課等
・事業別明細書…………… P. 95

- ◎ 文化振興課等
・事業別明細書…………… P. 107

- ◎ スポーツ振興課
・事業別明細書…………… P. 113

- ◎ 福祉介護課
・事業別明細書…………… P. 19

- ◎ 子育て支援課
・事業別明細書…………… P. 30

- ◎ 市民課
・事業別明細書…………… P. 37

- ◎ 健康課
・事業別明細書…………… P. 46

- ◎ 病院事業管理室
・事業別明細書…………… P. 49

- ◎ 環境防犯課
・事業別明細書…………… P. 53

主な質疑応答

<p>学校教育課等 福嶋委員</p> <p>萩原課長</p> <p>萩野委員</p> <p>萩原課長</p> <p>澤田委員</p> <p>萩原課長</p> <p>澤田委員</p> <p>萩原課長</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>20 学校給食費支援事業（能登半島地震災害関連）について。状況が長期化した場合は、制度も継続するか。</p> <p>状況を見て検討する。</p> <p>36 小学校長寿命化改修事業費について。人件費は誰の人件費か。</p> <p>担当者の人件費である。</p> <p>20 学校給食費支援事業（能登半島地震災害関連）について。対象人数の算定はどのように行ったか。</p> <p>予算策定時に罹災証明の申請が見込まれる世帯数を全世帯数で除して、その割合を児童生徒数で計算している。</p> <p>人数を確定するには時間がかかると思うが、どの時点からの補助になるか。</p> <p>基本的には年度当初からの補助となる。</p>
<p>文化振興課等 澤田委員</p> <p>布尾課長</p> <p>澤田委員</p> <p>布尾課長</p> <p>澤田委員</p> <p>布尾課長</p>	<p>【文化振興課】</p> <p>14 天然記念物イタセンパラ再生事業費について。イタセンパラは現在、増えているのか減っているのか、また概算でどのくらい生息しているのか等、全体の把握はされているか。</p> <p>全体で何匹生息しているかといった詳細な数字は持ち合わせていない。</p> <p>現状がわからない状態で、この予算が計上されているのか。</p> <p>以前に比べて増加しているのは間違いない。イタセンパラを取り巻く環境がどのようになれば、自然に増えていくようになるのかということは今後も調査を続けていきたい。</p> <p>見える化というか、市民の皆さんが実際に見ることができるような対策はしているか。また、今後ずっと調査を続けていくのか。</p> <p>イタセンパラアクアツーリズムはイタセンパラの観光資源としての活用を目的として進めてきた事業である。また、ひみラボ水族館では実際に見ることができる。今後の事業期間については、文化庁等の関係機関と相</p>

	談して決めていきたい。
正保委員	26 芸術文化館管理運営事業 について、増減の説明を今一度お願いします。
布尾課長	主なものは指定管理料の増額であり、元々の基本計画で想定していた金額1,501千円以外に人件費分の消費税5,616千円が増えたことによる。
正保委員	先ほどの説明に保険という言葉があったが、保険とは何か。
布尾課長	市有物件の火災保険である。
正保委員	27 現年社会教育施設災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連） について、今回補修で上がっている駐車場の面積は全体の面積の何パーセント程度か。
布尾課長	駐車場全面に要する経費となっている。
正保委員	本当に駐車場の全面がダメなのか。
布尾課長	全面にひび割れが生じているのはご覧になっていただければわかると思うが、本復旧に向けてどの程度実際に捲ったりするかは、測量設計費を別に計上しているので、その中で精査していくことになる。
正保委員	工事期間はどの程度になると予想しているか。
布尾課長	設計を待つ必要があるが、来年度の公演やイベント事業がほぼほぼ埋まっている状況となっているので、実際の工事に当たってはエリアを分けながら実施することになるので、1年程度かもう少しかかることになると考えている。
正保委員	復旧に1年か。
布尾課長	工事の完了ということで、仮復旧については段差の大きいところは入れるように対処している。元通りにするには相当時間がかかるということである。
正保委員	通常の公演が1年、この後控えている中で、集客人数に応じて駐車場の台数確保しながら工事を進めるのは大変難しいことである。この工事の中に設計費も含まれているのか。

布尾課長	設計費については2月の専決予算において計上させていただいている。
正保委員	なるべく公演に支障がないような形で実施してほしいが、元通りに直すことを優先するのか、事業を行うことを優先するのか。
布尾課長	来年度も土日を中心にほぼ埋まってきている状況なので、なるべく影響を与えないように、工事のタイミングやエリアを決めてなるべく駐車場を確保できる手法で進めたいと考えている。
荻野委員	代替の駐車場の準備は考えていないのか。
布尾課長	これまでも土日を中心に多くの方が車で来場されることが想定される場合は、市役所の駐車場が空いていれば、そこを活用してきたので、そのような手法で駐車場を確保していく。
澤田委員	大変大きな事業費だが、完成してまだ2年しかたっていない。原因が何かということをもっと調べないといけないと思う。同じ工法で直して、また地震が来たら同じことになる。液状化が原因ならその対策は行うのか。
布尾課長	現状は液状化が原因と考えている。国、県からもご指導いただきながら対策を考え、事業を進めていきたいと考えている。
澤田委員	液状化の調査と対策を含めて1年程度で事業が完了するのか。
布尾課長	その対策を考える場合は、事業期間も検討が必要と考える。
澤田委員	工事費の内訳に液状化対策の経費は無いが。
布尾課長	今回の事業費は復旧をメインとしたものであり、液状化対策等については算定時には含めていない。
子育て支援課 荻野委員	11 子ども・子育て支援計画推進事業費について。計画そのものを委託しなければならない事情があるのか。
利光課長	現在、ニーズ調査を行っており、国の子ども大綱の内容が十分反映されているかどうかといった分析であるとか、専門的な部分についてアドバイスをいただきながら計画を策定するため、委託という形を考えている。
文化振興課等 布尾課長	27 現年社会教育施設災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連）

について、液状化対策について復旧工事を行う中で対策を検討したいと説明したが、今回の復旧事業については国の公立社会教育施設復旧事業の補助を活用するというので、この制度の中では原状復旧が原則であるため液状化対策を盛り込むことができない。まずは原状復旧させていただくための事業ということをご理解いただきたい。